

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	大阪府
取組市町村名 取組団体・企業名	豊能町
取組の名称	みんなで防災クッキングの実施
実施時期	令和5年9月21日（木）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
取組内容	2歳児以上の町民を対象とし、防災に関する意識を高め、災害時の食事や調理についての知識を深めることを目的に食育講話とクッキングを行いました。当日の参加者は8名。うち親子の参加は1組でした。スタッフのサポートとして食生活改善推進員の方にも参加していただきました。 【教室の内容】 ① 災害時に備えた備蓄品の準備の仕方について（講話） ② ローリングストックと災害時の食事のポイント（講話） ③ 調理実習 ・チキンライス、パック肉じゃが（パッククッキング） ・フライパンスパゲティ（ガス・水などの節約メニュー） ・切り干し大根のカレー風味サラダ（加熱不要のメニュー） ・五平餅（パックご飯を使用したメニュー） ④ 新聞紙で紙皿を作る ⑤ 備蓄品で作る1週間の献立例の紹介 ⑥ 町の災害対策について（講話）

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	大阪府
取組市町村名 取組団体・企業名	茨木市
取組の名称	食生活について考える in 茨木～主食・主菜・副菜はそろっていますか？～
実施時期	令和 5 年 7 月 29 日（土）10:00～15:00
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
取組内容	○取組目的 健康いばらき 21・食育推進計画(第3次)に基づき、茨木市食育推進ネットワーク参加団体と連携・協力し、市域全体で食育に関する情報発信を行うことで、市民の食への関心を高め、生涯を通じた健康づくりに取り組むことを目的として開催しました。 ○参加者 498 名（市内在住・在勤・在学者等） ○実施内容 今回のイベントは学校法人梅花学園梅花女子大学（食文化学部管理栄養学科）等茨木市食育推進ネットワーク参加団体と協働し、また茨木保健所の後援のもと実施しました。 梅花女子大学の学生は、様々なゲームコーナーを実施しました。つりコーナーでは、料理カードを釣り上げ、主食・主菜・副菜の違いを学び、弁当箱コーナーでは、パズルで主食・主菜・副菜の量をチェックするなど、参加者は楽しみながら食事のバランスについて学びました。 茨木市では、食事バランス診断 SAT システムによる体験型栄養教育を行いました。フードモデルを使い、普段の食事のバランスをチェックすることで、自身の食事のバランスについて見直してもらう機会としました。

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	大阪府
取組市町村名 取組団体・企業名	茨木市
取組の名称	朝ごはんプロジェクト
実施時期	令和5年6月15日（木）～令和5年8月31日（木）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
取組内容	○取組目的 茨木市の朝食欠食率は茨木市保健福祉に関するアンケート調査において、18～39歳の男性34.5%、女性20.4%であり、その割合は20歳代が最も高い結果となっています。また、小学生高学年から中学生にかけて欠食率が増加する傾向にあることから、夏休み期間を利用して「朝ごはん」に対して関心を持ってもらうことを目的として実施しました。 ○参加者 42名（市内在住・在勤・在学者） ○実施内容 「朝ごはんプロジェクト」と題して、普段食べている朝ごはんの写真を募集しました。広報誌や市HP、SNS、イベント等で周知を行いました。参加者には、投稿写真の朝ごはんに対する栄養士からの一言コメントを付け、参加賞をプレゼントしました。また、中学生以下限定で自分でつくった朝ごはんの投稿者に特別賞をプレゼントしました。 投稿写真は市HPや来庁者の待合のデジタルサイネージで共有することで、市民に朝ごはんに対して関心を持ってもらうきっかけとしました。   

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	大阪府
取組市町村名 取組団体・企業名	茨木市
取組の名称	こどもクッキング～大豆と麴を使ってみそづくり～
実施時期	令和5年11月11日（土）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
取組内容	○取組目的 健康いばらき 21・食育推進計画(第3次)に基づき、「こどもクッキング」は、伝統食や世代間交流を盛り込むことにより、次の世代に知識や技術を継承する機会づくりを目的として実施しました。 ○参加者 11 家族 29 名（市内在住者） ○取組内容 日本の伝統的な和食文化の継承と様々な食体験のきっかけづくりとして、小学生を含めた家族で参加できる料理教室を開催しました。家族で協力しながら大豆をつぶし、米麴・塩と混ぜ、味噌を容器に詰める作業をしてもらいました。味噌は持ち帰りそれぞれの家庭で観察しながら熟成してもらいます。みそづくりの後は昨年同事業で作成した味噌を使った味噌汁と大豆ごはんの試食を行いました。 参加者のアンケートでは、こどもが味噌汁を食べながら「これは大豆をつぶしたものかな」と言っている、野菜嫌いだけど試食の味噌汁は「美味しい」と食べました、などの感想がありました。  